

# 皮膚障害の人へ

09年01月31日更新版 13刷

USA 3%、<sup>ニュージーランド</sup>NZでは、人口の5%もいるという乾癬・魚鱗症・アトピーと呼ばれる皮膚障害の状態です。苦しむ人が多い世界です。

内からの努力と、外からの努力(テアテ)が繋がってよい結果が現われるようです。



06.01.04

07.06 初回

07.12.28 33回

発症4年の男性は消えるのが早かった。

33回目と比較するとかなり消えているのが理解できるのです。早めのテアテが効果も早いと言うことのようにです。

どなたでもそうですが、峠を越えて状態が消えてくると、体重は余り変わらないで体型が締まってくるのが認められます。

次掲の女性も丁度脾臓付近の左脇腹の膨らみがかかり引いているのが認められます。

乾癬の人は皮膚表面免疫が高いせい、風邪を引かなくなったというのです。



07.06.01 17回

08.01.28

右図はひと月前から病院の塗り薬を使用されたので、急激に乾癬が引いてきたのです。ほっそりして3.5キロ体重が減少したそうです。肌も色白になりました。

前掲の男性より2ヶ月早くテアテの施術を開始しましたが、状態がよくなるには、発症から長い方が、遅くなるようです。テアテ後病院の薬の効きが良くなると言われます。

アトピーですと言ってこられる方の中には、明らかに乾癬であろうと思われる方がおられます。

**当方では医者ではありませんので、診断を下したり病名を告げたりは出来ませんので、ただ、皆様と同じ施術を受けて頂くだけです。**

脾臓付近の盛り上がりと言いますか腫れが引いてきますと自らの力が高まり、状態がよくなって行くようです。治すのは私三戒堂ではなくて、ご自分自身であるということです。

心にストレスを溜めない、明るく楽しく向上

ほうし  
して、奉仕の心で生きようとするのが炎症を  
抑える働きへとつながるようです。



魚鱗症当時 27 歳  
男性。04 年 5 月 22  
日初回。

これは  
魚鱗症（本人告  
談）の人で、  
生後三ヶ月か  
ら発症し 27  
年間苦しん  
で、テアテマ  
ンドールへと  
たどり着いた  
のです。

赤血球は  
脾臓で 90 日  
～ 120 日で  
破壊され鉄分  
が回収されま  
すが、生後三  
ヶ月は 90 日  
ですから、時  
期はだいたい  
合っています。

上の写真で  
理解できるの  
は、脾臓脾臓

付近の盛り上がりです。最終回 05 年 3 月 26 日  
のものではその部分が引いて皮膚剥離と鬱血が  
止まっているのが判ります。

この人は出産時の障害でした。出産時に曲  
がったまま引き出されたとのことでした。その  
ときに脾臓付近に力が掛かりポキッとやっただけ  
に違いないと想像しました。

したがって、皮膚障害は脾臓の機能低下では  
ないかと仮説を立てたのです。

脾臓機能低下で古い赤血球が皮膚表面で鬱血  
し始めるとリンパ液も鬱滞し免疫が高まり、  
皮膚代謝が早くなり皮がむけ始めます。

勿論皮膚は赤くなり鬱血状態を見せます。

部分的なのが尋常性乾癬で全身が鬱血し細  
かく鱗状に皮膚剥離するのが魚鱗症又は魚鱗癬  
と本人から告げられました。



この女性  
は、逆子  
で生れ、  
出産時に  
頸が母親  
の恥骨内  
側に引っ  
てかかっ  
てしまっ  
たので蝶  
形骨にい  
づかの歪

みを生じさせ、目が遠くを見るような上目遣いをしてしまうのです。18歳頃から発症し、テアテに来たのが33歳でした。なかなか減退してこないで苦しめられた。しかし顔は割合早く消えていったのです。首の曲りが脾臓付近の圧迫となっていたようです。

こういった一連の症状は脾臓の機能低下に問題があると踏んでいます。

脾臓は、先にも述べたように、赤血球を破壊して鉄分を回収する仕事が行われています。もう一つはリンパ液の浄化です。

### 鉄分摂りすぎに最大注意！

こう考えてみると、問題は鉄分過剰摂取にもあるようです。高濃度の鉄分を含ませた食品、例えば、チョコレートやプルーン濃縮液などが悪化を招くと言えます。

つまり、鉄分を余分に体内に入れてしまえば、脾臓での鉄分回収を止めさせなければならないからです。すると赤血球を破壊しなくなり結果的に古い赤血球が体内を巡り始めることになると考えるのが自然です。

鉄分を始め、鉱物（ミネラル）などの金属物は必要以上に体内に有ってはならないのですから、ミネラルが良いとばかりに摂取するのは考え物です。（医師の診断による場合を除き）

特にこういった濃縮物食品を多量に摂取することで、乾癬ばかりか、アトピーまでぶり返し

てしまうのを目の当たりにしてきたのです。

脾臓の働きを高める食品などはしっかりしていませんから、悪くしないことが大切です。

### 糖分摂りすぎ最大注意！

また糖分摂りすぎに因る脾臓の腫れも問題です。脾臓のすぐ隣にある脾臓が圧迫されその機能が低下してくることが考えられるからです。糖尿病予備軍に成ってしまうかも！

甘いものと言えばお菓子を連想しますが、炭水化物は体内で糖化してしまいます。したがって、ウドン蕎麦スパゲッティなどの粉ものも要注意でしょう。

当然果物の果糖分摂り過ぎも危険です。果糖が最も早く脂肪肝を作り出すと言います。

またトウモロコシ馬鈴薯のような野菜も危ない。野菜ジュースは良いようですが、甘い野菜を摂りすぎてしまう嫌いがあります。

例えばにんじん一本をそのまま全部食べるのはかなりきついものが有りますが、ジュースにすれば二本ぐらい飲めてしまいます。ジュースは急激に入るために対応速度が間に合わなくなる恐れがあります。噛んで食べることが大切です。濃縮物注意！

（人工甘味料のアステルパームは砂糖の600倍の甘さでアイスクリームやチョコレートに使われています）

私たちの心の中には、沢山摂取すれば身体に効くと言う、迷信めいた漠然とした想

## いがあるのではないのでしょうか？

そこにいつも健康食品会社はつけ込んでくるようです。

濃縮エキスという言葉がそれでしょう。

## 濃縮食品に注意！

### 皮膚障害者にはキムチも危険だ！

これは、当店のお客様の美体験から申上げるのであって、科学的根拠は未だはっきり究明できないのです。

キムチを食べると、かなり多量のカプサイシンを摂取してしまふことになりまふ。

カプサイシンは京大の研究で、脂肪酸を燃やすということが判っています。燃焼で発汗作用が高まるので汗が出やすくなります。

特に顔面などの皮膚の薄いところで、それは顕著です。発汗作用が高まるということは血液が早く大量に流れているということです。

だから乾癬の人がキムチを余計に食べると顔や脇に出ている人には特に、発汗に伴う血流の早さが伴い、リンパ液が滲み、又は小さく吹き出さしたりすることさえ有るのです。

## では何を食べればいいのか？

普通の季節の野菜にお魚肉と雑穀米と言った食事です。勿論胡麻もいいでしょう。

それだけでも十分に糖分は入っていますが、それ以上に、餅やうどんなど、又は果物やデ

ザート類などは危険です。アステルバームという人工甘味料は砂糖の600倍の甘さ。アイスやチョコに

特に冷たくして食べるアイスクリームや缶ジュース、缶コーヒーなどは通常の常温で感じる甘さの6倍以上の砂糖が使われていることを知るべきでしょう。(缶コーヒーには角砂糖が7個分の砂糖が入っている。)

寒い地方の人は口の中が冷えているので慢性的に糖分感知力が下がっています。

そのために温かい地方よりも多くの砂糖を使わないとおいしいと言わないのです。ちなみに伊勢の赤福餅は札幌進出の時に本店の2倍の砂糖を使ったと言うことが巷でさやかれているのです。

どおりで本店のを買ってきたらおいしくなかったという札幌人が多いのです。

スイーツの街にすれば、皮膚障害者、脾臓機能低下による性的衝動減退男性が札幌に蔓延し、少子化に拍車をかけることになるでしょう。糖尿病とその予備軍は、性的減退症状を出すからです。前頭葉が痺れてくるのが糖分過多の特徴です。末梢神経も痺れてきて傷が判らずにいて、腐って足を切り落とす人も結構出たりします。糖尿病による血栓が足に出来ても切り落します。

スイーツバイキングは特に  
危険だ！  
くれぐれも普通の食事が大切で  
す！  
ひと口50回咀嚼励行！  
つまり良く噛むこと



左 06年3月

右 06年9月

約二年間テアテを週一～2週一で受けて、十数年来の悩みから解放されたのです。十年ぶりに水着で海水浴が出来たと喜ばれた現在29才の女性です。(08年)

次図は34歳の女性で最初に掲載した方です。途中3回目で病院の光治療をしてかなり逆戻りして苦しみました。頭皮は赤くなったり消えた

りを繰り返し状態でした。



頭皮の色が普通になるのが目安です。(普通とは青白い頭皮です)

やっと峠を越えたようです。足の状態は皮膚剥離がすっかり止まって、鬱血も引き始めてきているようです。ひと月前から病院の薬を塗り初めて急速に変化しました。

以前ははかかなりお酒も飲まれたとのことですが、糖分も控え、内側の努力も実を結びつつあります。最も背中と額の髪の生え際が赤く顕著でしたが、仕事のストレスなどもあってでしょうか、副腎の働きも影響を受けているようです。そのために今一はっきりとは消えてなかったのですが徐々に赤みが薄くなり、患部の熱が引いているのが感じられます。施術は内と外をつなぐ事が大切です。色心不二とは心と肉体が密接に繋がっていることを言っています。外からの努力と内からつまり食の見直しが必要でしょう。(色とは色の付いたものつまり物質世界のこと)

あるがままを受け入れ、そこに魂の呼びかけや学びがあり、必然の今日であると感得して、

心は明るく、楽しく、向上、奉仕で有り続けたいですね。

必要で病み、必要で苦しみます、これこそ神の与える宝石かも知れません。なぜ生れてきたかという回答を得るためのです。

**乾癬魚鱗症の人が食べると問題が悪化する物が又見つかりました。**

**芋類や粉食品に注意！**

うどん、蕎麦、スパゲッティーなど、パウムクーヘン、パウンドケーキなどです。

42歳の或る方は、手軽だからとうどんや蕎麦ばかりで半年ほど過ごした後に、乾癬が今まで無かった以上に悪化して駆け込んできました。

麵類は足で踏んづけるほど練り固めてありますから、相当量の炭水化物であると言えます。それらが腹持ちが良く長く消化にかかり、弱っている脾臓に悪影響の信号をを与え、腫らしてしまい脾臓を圧迫したためだと思しますので、注意した方が良いでしょう。

パウムクーヘンは粉その物に砂糖、クリームをしっかりと巻き付けて密度の濃い物となっています。これを毎日食べて18歳の方が、折角治りかけていた臉と眉に出ている乾癬を悪化させてしまいました。パウンドケーキも同類です。

又、馬鈴薯はその成分がインシュリンを多量に出させると言うことです。北海道に旅行に来て、おいしいという思いこみでジャガイモをたっぷり食べてしまって、脾臓を吃驚させて腫れ上がらせてしまい、ギックリゴシになったり、脾臓が圧迫されてしまい、乾癬が酷くなってしまふようです。

更にトウモロコシがかなり糖分が有りますので食べすぎには注意でしょう。最近の農家は野菜の糖度を上げることに夢中です。

酒をじゃぶじゃぶ飲む貴女。エリトマトーデスというSLEで表現されるオオカミに噛まれた後のような赤い斑点が深く出来て、そこからリンパの汁が出たりしてませんか？ついでに甘いもの大好きではありませんか？

また皮膚が蜥蜴の鱗のようになってきて黒ずみ脂気が無い肌になっていませんか？

内臓と関連しない皮膚は有りません。内側にテロ行為をしているなら、改めるべきでしょう。

皮膚科の先生の中には乾癬類は内臓とは一切関係なく遺伝子の問題だと言っている人がいますが、本当に遺伝でしょうか？

**脾臓付近のテアテで消えるのはなぜでしょうか？**

**生活習慣をもう一度見直して下さい。**

さてもう一つ乾癬やアトピーの人がやらない方が  
良いことに気が付きました。

**ホットヨガ、長風呂、サウナ**などの皮膚表面が赤くなり鬱血してしまうようなことです。

これらの症状は鬱血が主たる原因と見ていますから、肌が赤くなってしまうようなことは慎んだ方が良いでしょう。

実際ホットヨガに行ってきた悪化した人や、長風呂の後にはきつと悪化したという人がいるのです。

鬱血の上塗りのようなことをすれば、鬱血が厚みを増してきてリンパ液も濃縮され免疫が強くなり、皮膚代謝が早まってしまうようです。

(これはフランスのお医者様の説。)

**乾癬等は死なない病気ですが心はかなり苦しみます。当人も家族もです。**

かわいそうだからとお菓子や果物を食べさせないことでしょう。それも慈悲の一つです。

ここでいくつかの貴重な写真を提供されたので追加致します。



上はホットヨガをやった直後にリンパ液が吹き出てしまった状態。下は数日後 08年 01月 05日施術後の画像です。狼に食いつかれたような湿疹が出るという状態でしょう。



悪化して  
脾臓付近が  
腫れている  
のが認めら  
れる



赤の矢印は  
脾臓付近

下図はかな  
り痩せてきて  
いることが判  
る。

表紙に掲載している男性の施術前と 41 回目の画像ですが折角綺麗になってきたのに今回の豪雪で雪かきのために左脇腹に力が入りすぎたようで少し逆戻りしてしまいました。

残念なことではありますがある意味では貴重

な体験です。やはり脾臓付近圧迫が大きな原因だと確信出来るからです。ですからピアノの先生、歯医者さんなど左に傾く仕事をされておられる方にも発症が多く見られるようです。

画像では左脾臓付近が腫れているのが認められます。(赤矢印)

### 乾癬魚鱗症は生態排泄現象かも？

血液は食物によって腸から造られるという腸造血論を検討してみますと、血液から細胞は造り出される、つまり、食餌は血になり、血は肉になると言う昔からの言い伝えが正しいことになります。

そして身体は異常事態発生時には可逆性現象を起こし、細胞から血液へと逆転換されていることも千島・森下理論では説明されています。

(映像による証明が著書に掲載されている)

これによりますと、今までの私の理論ではフランスの医者の方の言われたように、鬱血と同時にリンパ液が溜まってしまいその部分の皮膚代謝が急速になり皮膚剥離が始まるとしてきましたが、此の腸造血論を知ってみますと、古い鬱血した血液はそれを体外に排泄しようとして、急速な血液の細胞化が始まって皮膚剥離が出来てしまうと言うことではないかと言うことに考えが至りました。(新自説)



ではこれをくい止めるにはどうすればいいのかと言うことになります。

剥離してくる皮膚をくい止めようと保湿剤や炎症をくい止めるステロイド（副腎皮質ホルモン）で表面から治療してきていますが、消えたかに見えるリバンウンドしてしまい更に悪化するという人も多いのですから、皮膚表面からでは解決できないと言うことにも成ります。

これを鬱血が主たる原因であると捉えますと、単純に鬱血しない身体になればいいと言うことになります。

これは先にも述べましたが、鬱血する原因が脾臓の機能低下による古い血液の循環作用であると捉えてみますと、脾臓の機能が上がってくればいいと言うことが言えるでしょう。

実際表紙の写真を見比べてください。左から施術前と開始時期と約一年後ですが、施術前の画像では左アバラ下部の脇腹が以上にブクリと膨らんでいるのが認められます。

それが施術を続けている内に小さくなり、それに連れて皮膚状態が綺麗になってきているのが認められます。

特別な施術ではなく腰痛にも同じでテアテマンドールの施術をしているだけなのです。医療とは呼べないものですが、脾臓付近のコリが取れてきて、皮膚状態が改善されているのは確かなことです。

更に P3 上下図を参照してみてください。剥離

が酷い施術初期状態と剥離が止まった下図の状態では脾臓付近の背骨左側の盛り上がりはかなり引いているのが認められるのです。

このように、医学的証明は出来ませんが実証は出来ていると思います。

脾臓に多大な影響を与えるのが隣にある膵臓です。膵臓を腫らさない事も大切でしょう。さらに左脇腹を圧縮するような姿勢を続けている人は、左脇腹をよく伸ばすことです。

皆様の健康を願って止みません。

私三戒堂も遂に乾癬が出てしまいました。



左手首にうっすらと赤い5百円玉くらいの鬱血が見られます。痒みも少し生じています。右写真は背中左腰のくびれ上が背骨よりで膨らんで膵臓が腫れているのが認められます。



掌にもはっきり  
と膵臓と脾臓(矢印)  
が疲労している線  
が出ています

ではどうしてこうなってしまったのかを検証  
してみますと、こうなる三日前ほどのことです。

脇両方に乾癬が出ていた 19 歳の女学生が  
かなり良くなったとお礼に母親が大きなメロンを  
二つ贈って下さったのです。食べ頃になり 2 日  
に渡って家内と二人で一度に半分ずつ食べてし  
まったのです。その次の日、昼食も摂らずに仕  
事で汗を流し、そのまま外出しました。すると  
まもなく低血糖症状が現われ、急に手が震えて  
くるのです。心臓はどきどきしてきてこれは大  
変だと急ぎ糖分を補給して事なきを得たので  
すが、家に帰り着くころ、手首が赤くなり出  
てきたのです。当然痒みも伴ってきます。

これはメロンの高い糖度を含んだ果汁を急激  
に大量に口の中でジュースにしてしまい摂取  
したために膵臓にかなりの強い信号が出てしま  
い、インシュリンが通常の 3 倍以上も放出さ  
れてしまい、血糖値が下がり過ぎてしまったので  
しょう。

電解質の飲料水など暑さでごくごく飲み干し  
た途端にも同じように急激に低血糖症状を起  
すことがあります。

他人事でなくなった乾癬ですが、やはり糖分  
過多が大きな原因の一つであると確信できた事  
件でしたので報告しておきます。

果糖分は果物だけでなく、野菜にも多く含ま  
れています。朝の野菜ジュースも危険でしょう。

嚙んで食べて体内に入れる速度が重要です。  
濃縮ジュースは最も危険です。

身体に良さそうな物を濃縮して大量に取り入  
れるというのは健康には愚行でしかないでし  
ょう。薬でも効くと思って適量の倍や数倍飲  
んで取り返しの付かない事になってしまう人も  
います。レモン 30 個分、1200 倍のゴマエキ  
ス、バケツ一杯のブルーネ、炭に成っている濃  
縮酢、危ないでしょうね。

## 乾癬 97% 消えたと思えます



初回は全身に出ていました。腕足特に脛にも

多く出ていたのです。最初 3 回継続して 4 回目からは一週間おきになりました。3 回と 4 回の間に紫外線治療でぶり返してしまいそこから峠を越えるのが長かったのです。

初回から一年七ヶ月が経った 08 年 9 月 24 日の画像では 97% 消えたと言えるようです。

体型もすんなりして、肌色も白くなってきたのです。これは脾臓脾臓の腫れが引いてきて血液循環が良くなり、皮膚障害が消えてきたので、皮膚を守ろうとするメラニン色素が必要なくなってきたので本来の肌色に戻ったと言えるでしょう。他の人々もほぼそう言う現象です。

此の画像が治らないと諦めてしまう皮膚障害の方に勇気を与えてくださると信じて疑いません。

### 掌乾癬（掌蹠膿疱症かも）

てのひらが水ぶくれ状になり皮が剥けて来る状態です。掌の乾癬だと思いますがテアテで 5 回も施術すると引く方が多いのです。



この女性は 53 歳の方です。数年間皮膚科でもらう塗り薬でも良くならなかったと言われてきましたが、5 回目には消えています。かなり糖分が多い食生活で特に夫婦で健康ドリンクを毎日飲んでいました。



左図は 30 歳男性で画像で判りにくいのですがとくに左手親指つけ根が赤くなり皮が剥け全体にぷつぷつと広がっていました。毎週一度の施術で約ひと月後には綺麗に成っていました。

しかし突然の再発です。

此の数日前に黒ごまとバナナと豆乳のかなり甘い飲み物を栄養があると思って注文して飲んだそうです。その 2 日後に再発したのです。背中の脾臓脾臓付近はかなり盛り上がり蒲鉾のように成っていたのです。急ぎ翌日も施術してみましたところ、若干消えてきているように思えます。

やはり **糖分急激過剰摂取が脾臓を疲労さ**



**せそれが脾臓を圧迫して血液問題を引き起こしている**という確かな実証例と成ってしまいましたのでここに発表しました。更に一週間後にはまだ少し残っていますが親指つけ根は消えていきました。此の掌乾癬の特徴は親指つけ根に大きく皮膚剥離が始まるということのようです。

**初期 SLE かも？** 最初はニキビかと思っていま



したがやはり SLE の様でした。初回はもっと青赤紫でした皮膚の中が徐々に消えてます。仕事のストレスと糖分過多でした。30 歳。

帝京大学の山崎教授が野菜にステロイドと同じかそれ以上の物が有ると発表されました。紫蘇と生姜がそれです。キャベツや大根茄子などにはインターフェロンと同じ物があり、紫蘇や生姜は余分な免疫力を出す白血球を消す力があると言います。少し余計に食べてみるのも良いかも知れません。偏らない食生活が大切です。雑穀米を 50 回良く噛んでください。



文芸社刊 ¥ 1260

柏書舎刊 ¥ 1524

三戒堂健康著作、全国書店又はコンビニ等で

09 年 1 月号集英社の美容雑誌マキアに『知って得するお尻の話』が紹介されました。

## テアテマンドール日本総合本部

〒 064-0804 札幌市中央区南 4 条西 11 丁目

サニー南 4 条 Ms 401

011-512-1557

予約直通 090-3606-4239

三戒堂へ

<http://www.teatejp.net>

[teate1@jk2.so-net.ne.jp](mailto:teate1@jk2.so-net.ne.jp)

又は **テアテマンドール** で検索！

無料配布

